

「あけみおの里」施設長挨拶 2021

琉心会 介護老人保健施設「あけみおの里」

施設長 石川 清司

ご挨拶を申し上げます。

世の中は、新型コロナウイルスの嵐で混乱を極めております。皆様方におかれましては、日常の健康管理に細心の注意を払ってください。

嵐の光景とは裏腹に、介護老人保健施設「あけみおの里」の窓からは、穏やかな名護湾が見渡せます。

施設は100床で運営され、比較的長期の入所を余儀なくされている方が95床、日常生活のリズムを整えるためのショート・ステイが5床の利用状況となっております。

入所の方々の平均年齢は約90歳。戦争を体験され、沖縄の苦難の歴史を担ってこられた方々も、名護湾の水平線を眺めつつ、日常の穏やかな生活を取り戻すためにリハビリに専念されておられます。

急性期医療機関との役割分担をも考慮し、老健施設においても介護・リハビリを必要とする比較的重症の患者さんの入所も受け入れております。経管栄養を必要とする方が常時20名、酸素投与10名、麻薬を必要としない疼痛管理悪性腫瘍事例も5～10名あり、寝たきりにならないよう、QOLの向上に努め、可能な限り在宅への復帰を目指します。

名護湾の波も時に荒れることがあります。人生の荒波を経験された方々が静かに、やすらかに、水平線を超えて楽園へと旅立つことができるよう、ご家族とともに支えていくことも大切な役割だと認識しております。

「あけみおの里」におきましては、令和3年10月より在宅での訪問リハビリ部門を開設いたします。入所・通所に加えて、皆様方の多様なニーズに応じて、各家庭の諸事情をも考慮して対応いたします。

地域連携室までお気軽にご相談ください。

2021年9月